

檀原市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査結果報告書
【概要版】

平成 26 年 3 月

檀 原 市

目 次

調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の留意点・見方	1
就学前児童および就学児童調査の結果概要	2
1. 母親の就労状況と就労意向	2
2. 平日の定期的な幼稚園・保育所（園）等の施設・サービスについて	3
3. 子育て支援サービスについて	4
4. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について	7
5. 子育てに関する意識・状況	8
6. 妊娠・出産時の意識・状況	12
7. 医療等との関わり・意識	13
8. 市の子育て支援策に求めること	14
中高生調査の結果概要	15
1. 食生活について	15
2. 子どもを持つこと等について	16
3. 将来について	17

調査の概要

1. 調査目的

「橿原市次世代育成支援行動計画後期計画」に沿った子ども・子育て支援に関する様々な取り組みを検証するとともに、「子ども・子育て支援事業計画」の策定にむけて、市民の皆様が必要としている教育・保育・子育て支援の必要量や施策に対する意向などを把握するため、本アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

就学前児童調査	調査対象者	市内在住の就学前の子どもを持つ保護者 1,600 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 25 年 11 月 12 日（火）～11 月 25 日（月）
就学児童調査	調査対象者	市内在住の就学中の小学生を持つ保護者 800 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 25 年 11 月 12 日（火）～11 月 25 日（月）
中高生調査	調査対象者	市内の中学生・高校生
	調査方法	学校を通じて配布・回収
	調査時期	平成 25 年 11～12 月

3. 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童調査	1,600 件	881 件	55.1%
就学児童調査	800 件	413 件	51.6%
中高生調査	552 件	552 件	100.0%

4. 報告書の留意点・見方

- 表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。
- 結果数値(%)は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。
- グラフ中の「不明・無回答」の表記については、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1 つまでの回答を求めている設問に対し 2 つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。
- 前回調査は、次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年度）のことです。

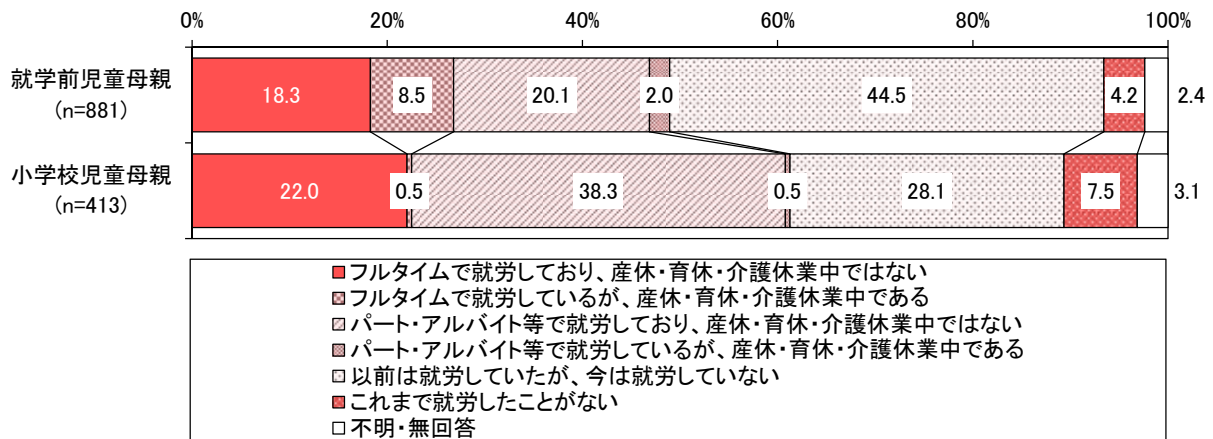
就学前児童および就学児童調査の結果概要

1. 母親の就労状況と就労意向

1) 母親の就労状況

■ 就労している母親（「フルタイム」＋「フルタイムで産休・育休・介護休業中」＋「パート等」＋「パート等で産休・育休・介護休業中」）は、就学前児童の母親で48.9%、小学校児童の母親で61.3%を占めています。

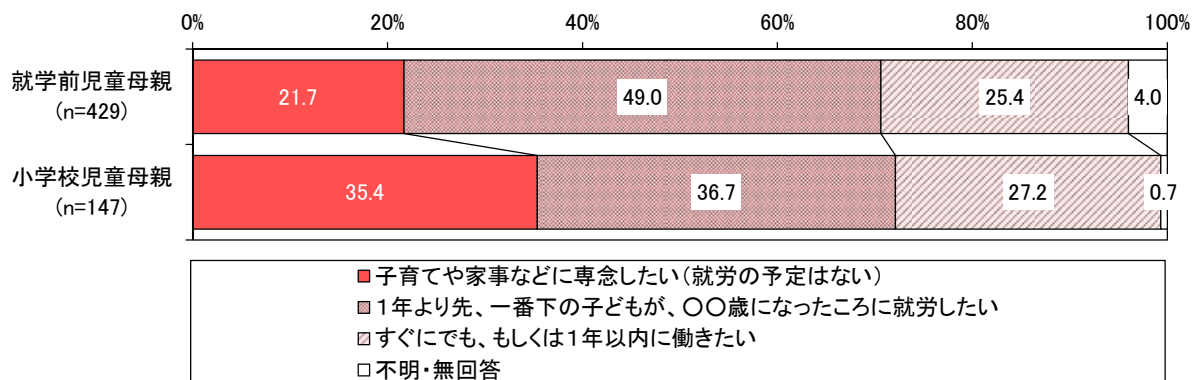
【母親の就労状況】



2) 母親の就労意向

■ 就労していない母親（「以前は就労していたが、今は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とする母親は、就学前児童の母親で25.4%、小学校児童の母親で27.2%となっています。

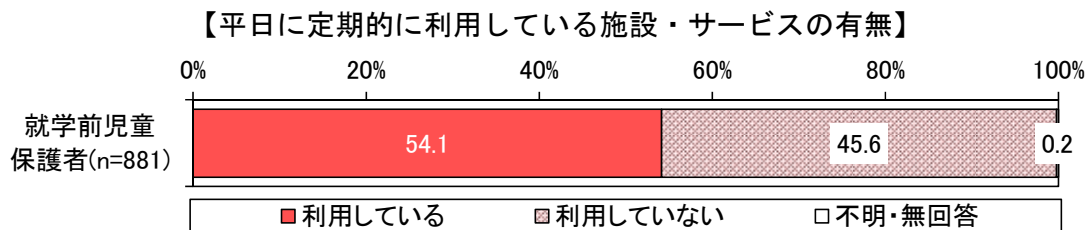
【現在就労していない母親の就労意向】



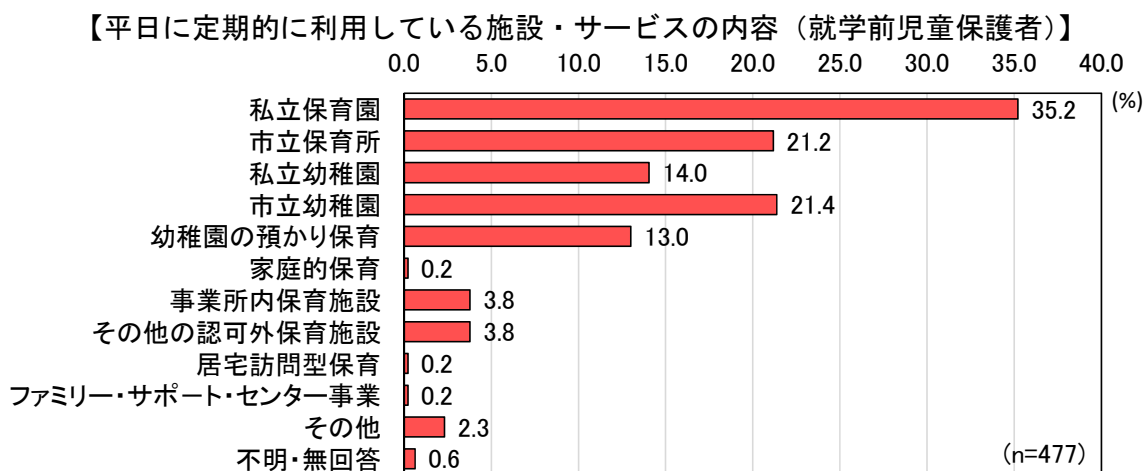
2. 平日の定期的な幼稚園・保育所（園）等の施設・サービスについて

1) 平日の定期的な幼稚園・保育所（園）等の施設・サービスの利用有無・利用内容

■ 平日の定期的な施設・サービスの利用有無をみると、「利用している」が54.1%を占めています。

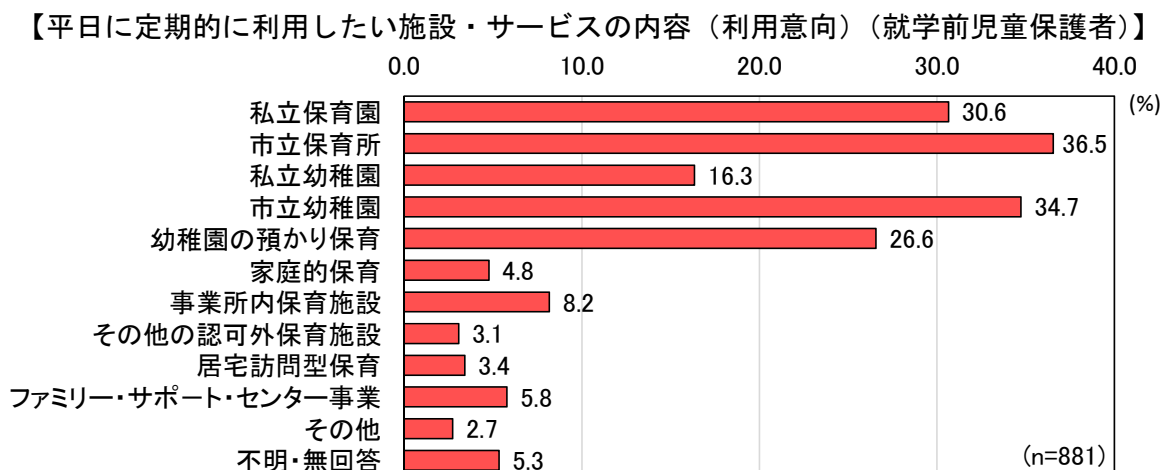


■ 平日に定期的にご利用している施設・サービスの内容についてみると、「私立保育園」が35.2%で最も多く、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」(21.4%)、「市立保育所」(21.2%)がつづいています。



2) 平日の定期的な幼稚園・保育所（園）等の施設・サービスの利用意向

■ 平日の定期的な施設・サービスの利用意向をみると、「市立保育所」が36.5%で最も多く、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」(34.7%)、「私立保育園」(30.6%)がつづいています。



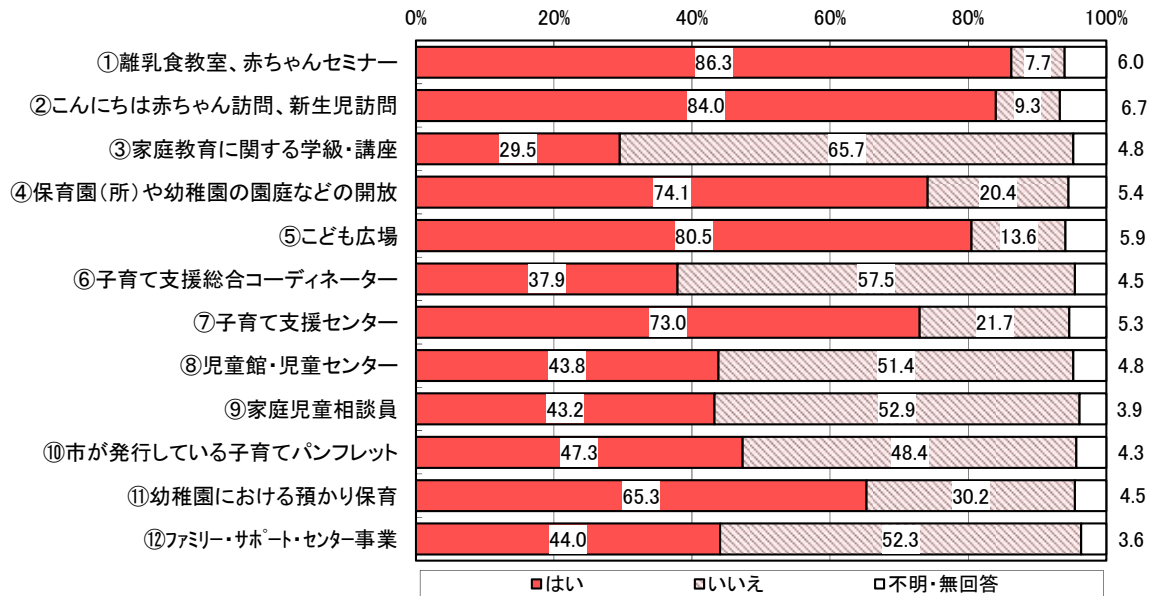
3. 子育て支援サービスについて

1) 就学前児童・保護者を対象とした子育て支援サービスについて

(1) 子育て支援サービスの認知度

■ 子育て支援サービスの認知度（該当サービスを知っている人の割合）は、「離乳食教室、赤ちゃんセミナー」が86.3%で最も多く、「こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」(84.0%)、「こども広場」(80.5%)がつづいています。

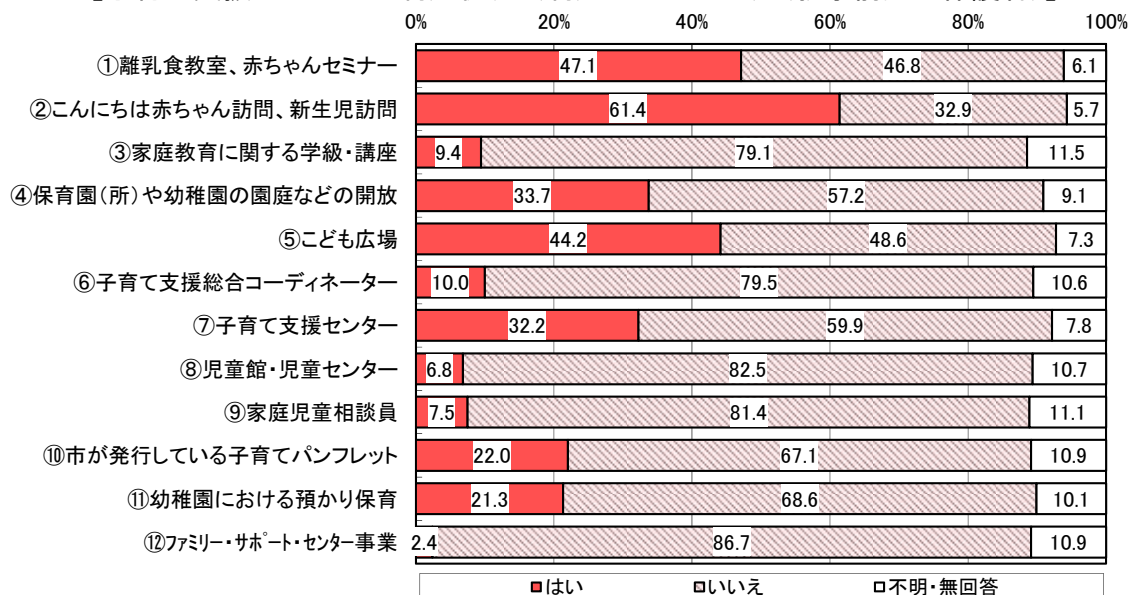
【子育て支援サービスの認知度（知っているか）（就学前児童保護者）】



(2) 子育て支援サービスの利用状況

■ 子育て支援サービスの利用状況（該当サービスを利用している人の割合）は、「こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が61.4%で最も多く、「離乳食教室、赤ちゃんセミナー」(47.1%)、「こども広場」(44.2%)がつづいています。

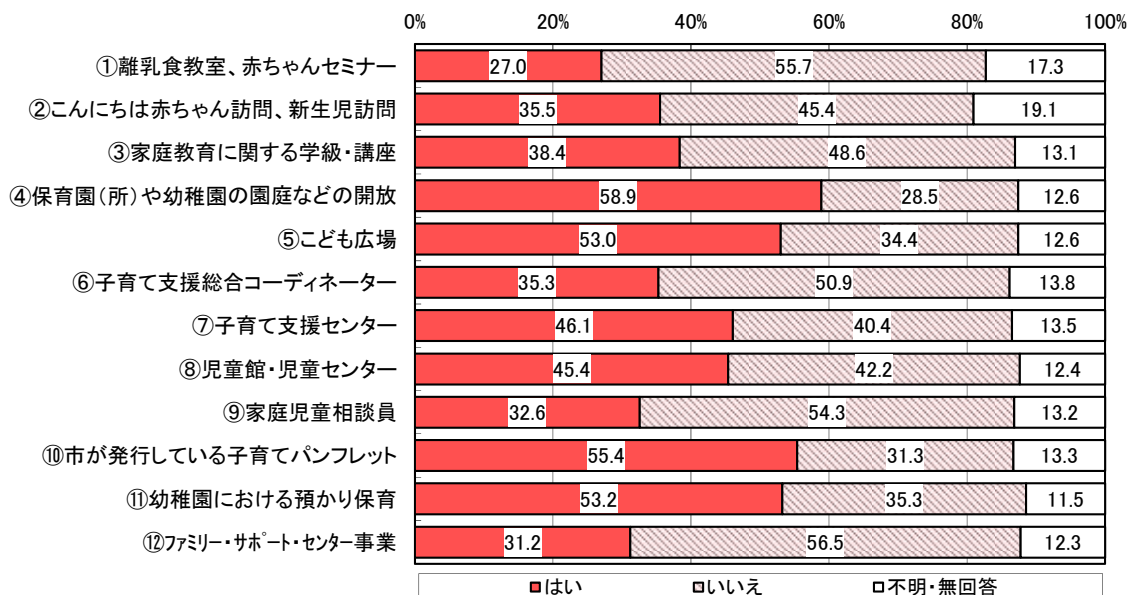
【子育て支援サービスの利用状況（利用しているか）（就学前児童保護者）】



(3) 子育て支援サービスの利用意向

■ 子育て支援サービスの利用意向（該当サービスを今後利用したい人の割合）は、「保育園（所）や幼稚園の園庭などの開放」が 58.9%で最も多く、「市が発行している子育てパンフレット」（55.4%）、「幼稚園における預かり保育」（53.2%）がつづいています。

【子育て支援サービスの利用意向（今後利用したいか）（就学前児童保護者）】

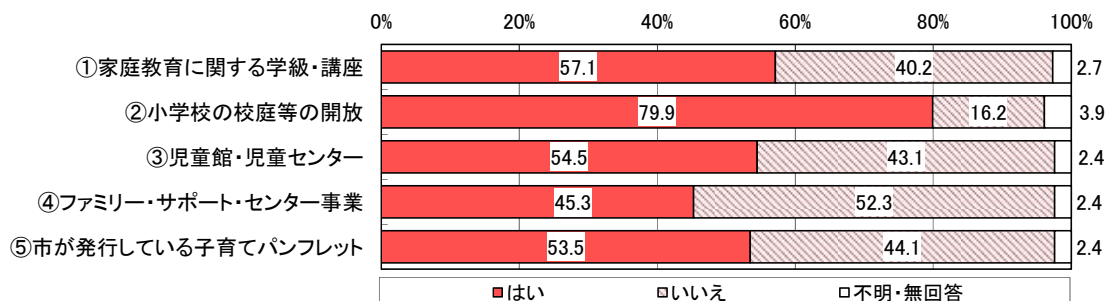


2) 小学校児童・保護者を対象とした子育て支援サービスについて

(1) 子育て支援サービスの認知度

■ 子育て支援サービスの認知度（該当サービスを知っている人の割合）は、「小学校の校庭等の開放」が 79.9%で最も多く、「家庭教育に関する学級・講座」（57.1%）、「児童館・児童センター」（54.5%）がつづいています。

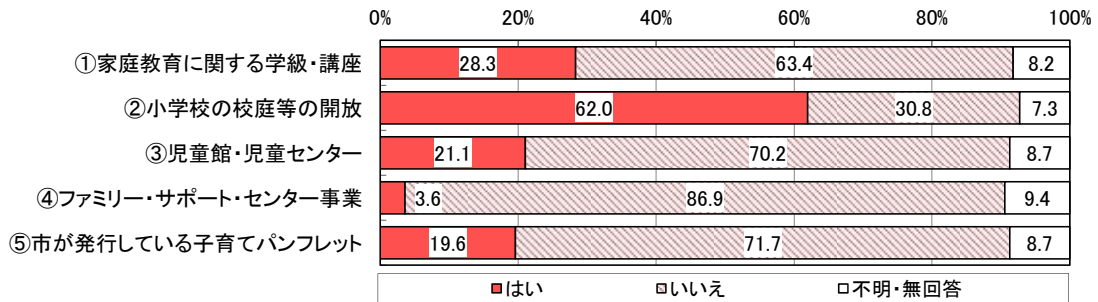
【子育て支援サービスの認知度（知っているか）（小学校児童保護者）】



(2) 子育て支援サービスの利用状況

- 子育て支援サービスの利用状況（該当サービスを利用している人の割合）は、「小学校の校庭等の開放」が62.0%で最も多く、「家庭教育に関する学級・講座」(28.3%)、「児童館・児童センター」(21.1%)がつづいています。

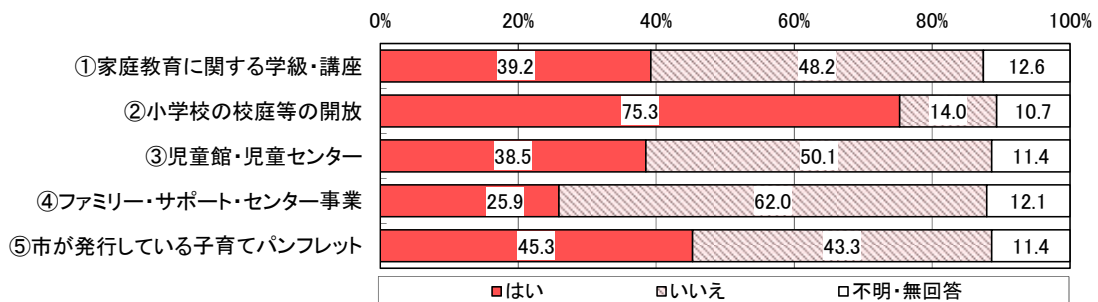
【子育て支援サービスの利用状況（利用しているか）（小学校児童保護者）】



(3) 子育て支援サービスの利用意向

- 子育て支援サービスの利用意向（該当サービスを今後利用したい人の割合）は、「小学校の校庭等の開放」が75.3%で最も多く、「市が発行している子育てパンフレット」(45.3%)、「家庭教育に関する学級・講座」(39.2%)がつづいています。

【子育て支援サービスの利用意向（今後利用したいか）（小学校児童保護者）】

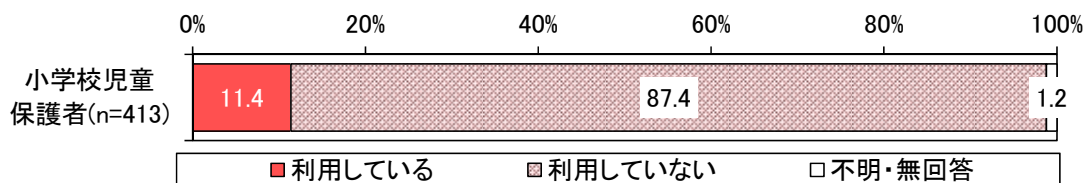


4. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について

1) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用状況

■ 平日の放課後児童健全育成事業の利用有無をみると、「利用している」が11.4%となっています。

【平日の放課後児童健全育成事業の利用有無（小学校児童保護者）】



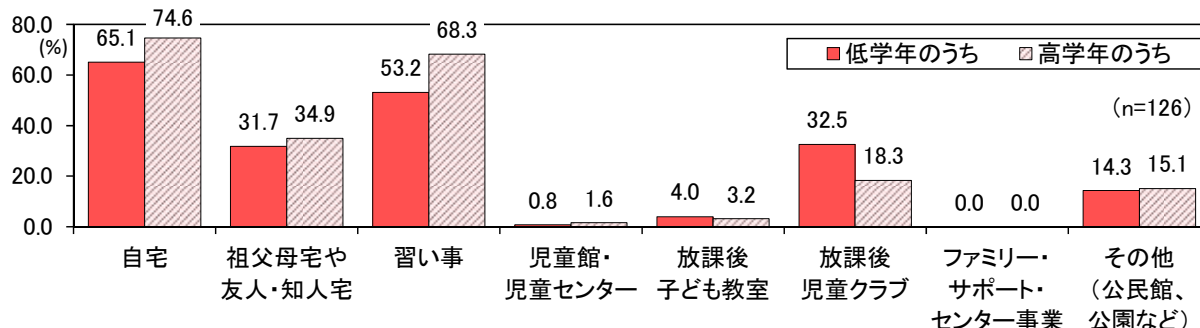
2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用意向

(1) 次年度に小学校に入学する子どもの保護者の利用意向

■ 次年度に小学校に入学する子どもについて、保護者が希望する放課後の過ごし方をみると、低学年（小学1～3年生）のうちと、高学年（小学4～6年生）のうちで、ともに「自宅」が最も多くなっています。

■ 低学年のうちで「放課後児童クラブ」を希望する保護者については32.5%、高学年で「放課後児童クラブ」を希望する保護者は18.3%となっています。

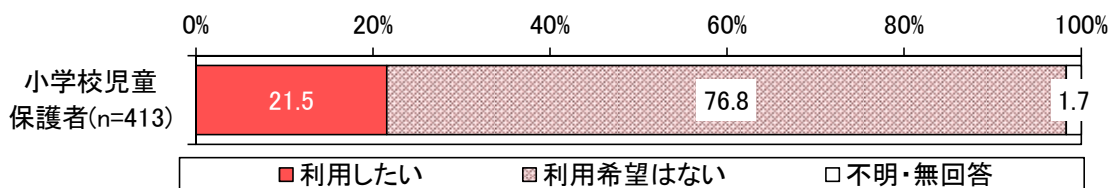
【希望する放課後の過ごし方（次年度に小学校に入学する子どもの保護者）】



(2) 小学校児童保護者の利用意向

■ 平日の放課後児童クラブの利用意向（利用したい人の割合）をみると、21.5%となっています。

【平日の放課後児童健全育成事業の利用意向（小学校児童保護者）】

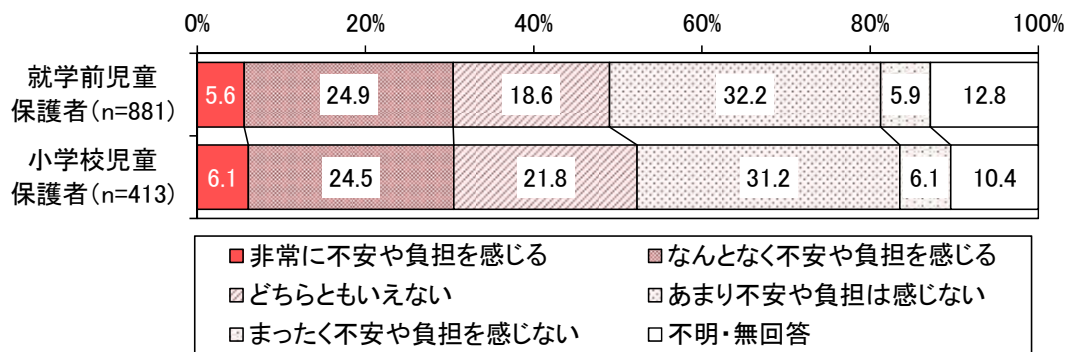


5. 子育てに関する意識・状況

1) 子育てに関する不安や負担感

- 子育てに関する不安や負担感についてみると、就学前児童および小学校児童の保護者とも「あまり不安や負担を感じない」が3割程度で最も多くなっています。
- 一方、「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせると、就学前児童の保護者で30.5%、小学校児童の保護者で30.6%となっており、3割程度の保護者が子育てに不安や負担感を持っています。

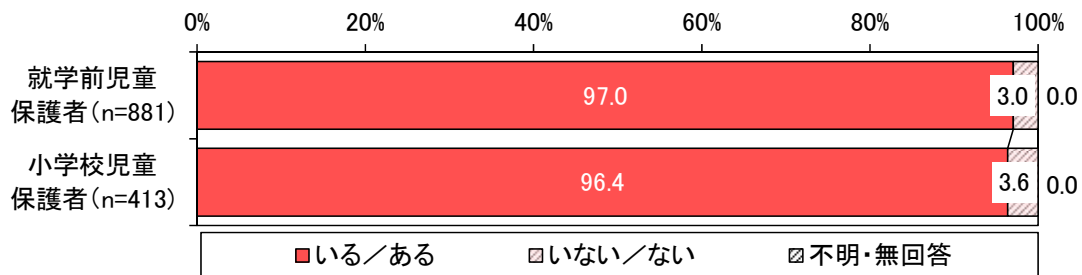
【子育てに関して不安や負担感があるか】



2) 子育て・教育に関する相談相手の状況

- 子育てや教育について気軽に相談できる人や場所がある、もしくはあるという保護者は、就学前児童の保護者で97.0%、小学校児童の保護者でも96.4%を占めています。

【子育て・教育に関する相談相手・相談場所の有無】

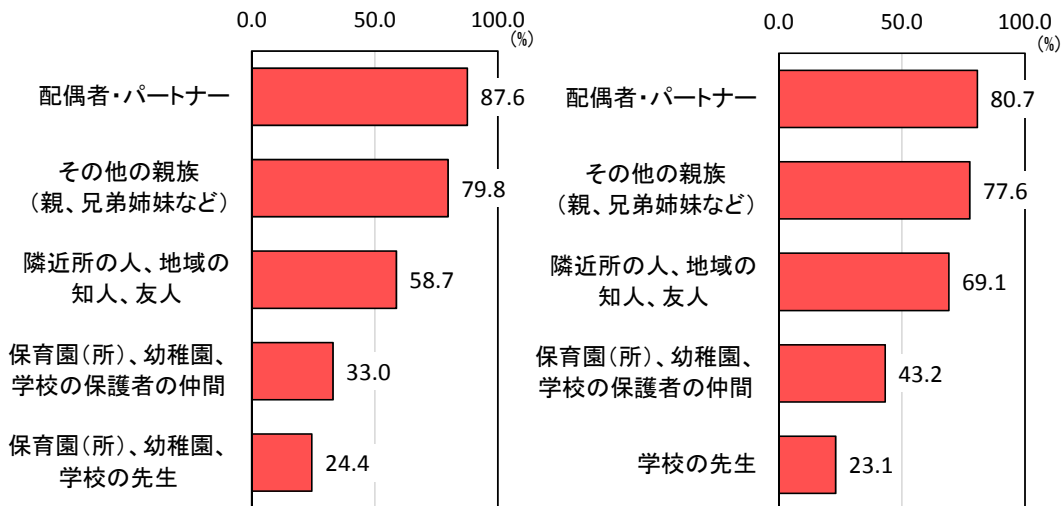


- 子育てや教育について気軽に相談できる人や場所がある、もしくはあるという保護者について、相談相手・相談場所をみると、「配偶者・パートナー」や「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、地域の知人、友人」が上位3項目を占めています。

【子育て・教育に関する相談相手・相談場所の内容（上位5項目のみ）】

就学前児童の保護者 (n=855)

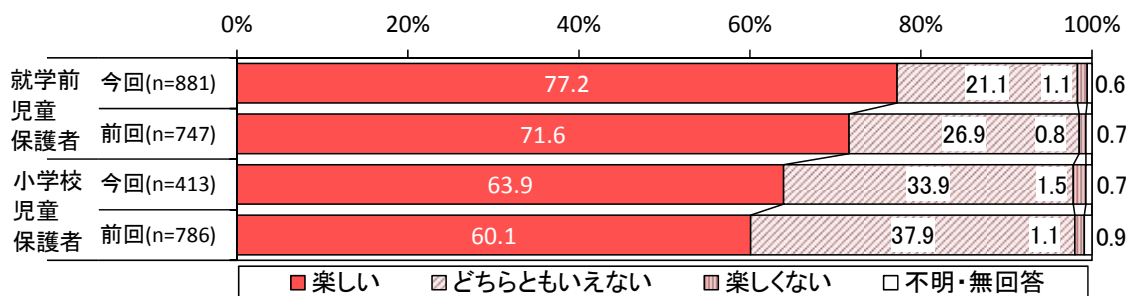
小学校児童の保護者 (n=398)



3) 子育てを楽しんでいるか

- 子育てを「楽しい」と感じる保護者は、就学前児童の保護者で77.2%となっており、前回調査(71.6%)から5.6ポイント増加しています。一方、小学校児童の保護者では63.9%となっており、前回調査(60.1%)から3.8ポイント増加しています。

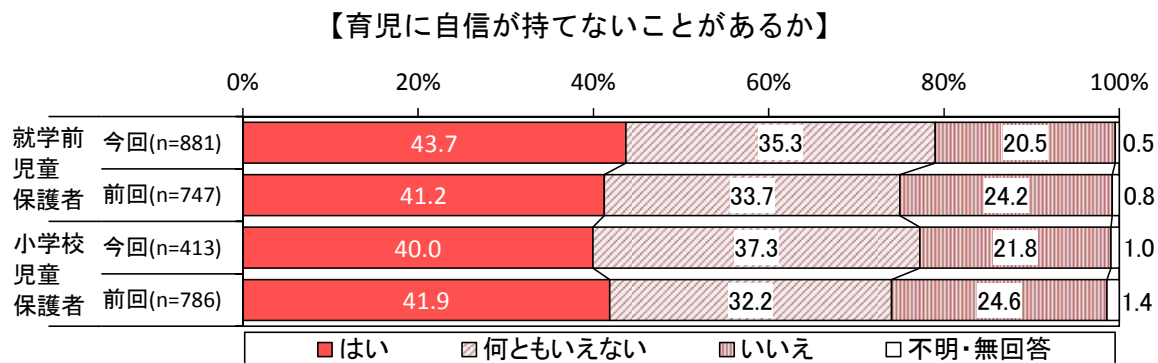
【子育てを楽しんでいるか】



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年度）

4) 育児に自信が持てないことがあるか

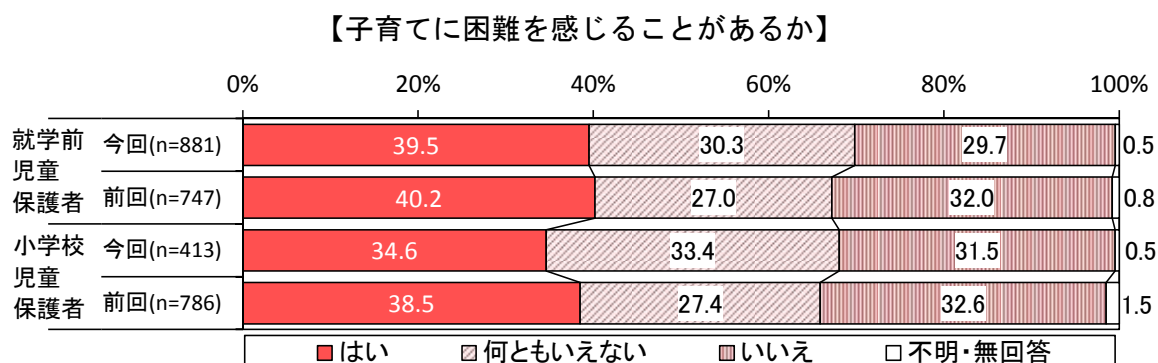
■ 育児に自身を持てないことがある保護者は、就学前児童の保護者で 43.7%となっており、前回調査 (41.2%) から 2.5 ポイント増加しています。一方、小学校児童の保護者では 40.0%となっており、前回調査 (41.9%) から 1.9 ポイント減少しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査 (平成 20 年度)

5) 子育てに困難を感じることの有無

■ 子育てに困難を感じることもある保護者は、就学前児童の保護者で 39.5%となっており、前回調査 (40.2%) から 0.7 ポイント減少しています。一方、小学校児童の保護者では 34.6%となっており、前回調査 (38.5%) から 3.9 ポイント減少しています。

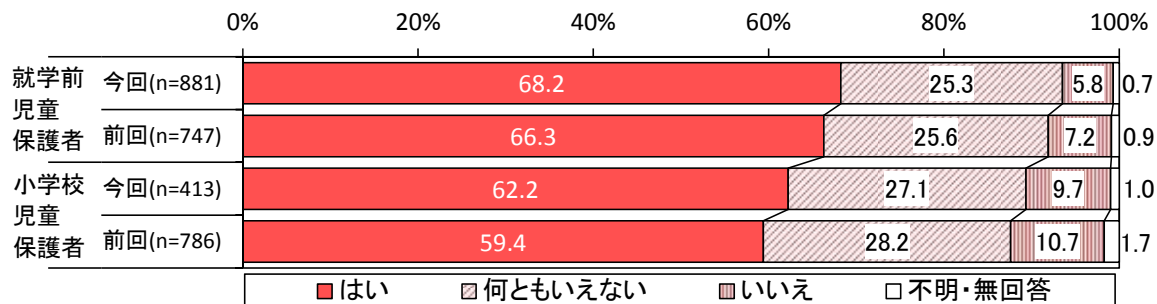


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査 (平成 20 年度)

6) ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無

- ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親は、就学前児童の母親で 68.2% となっており、前回調査 (66.3%) から 1.9 ポイント増加しています。一方、小学校児童の母親では 62.2% となっており、前回調査 (59.4%) から 2.8 ポイント増加しています。

【ゆっくりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか】

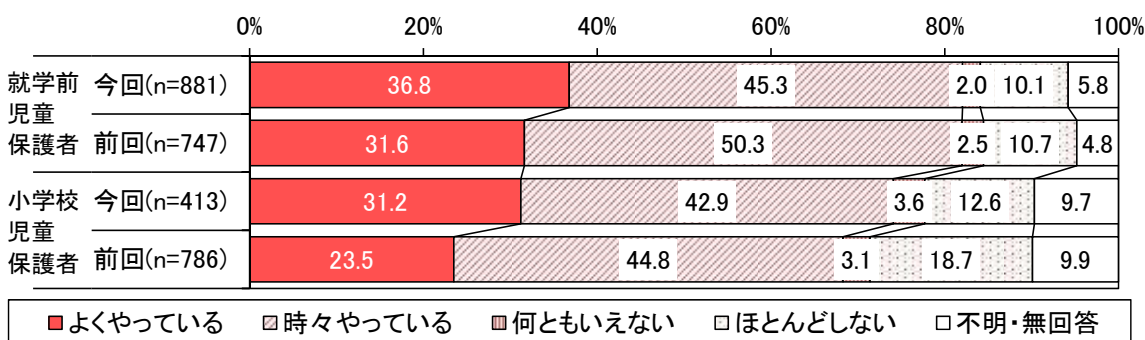


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査 (平成 20 年度)

7) 父親の育児への参加状況

- 父親の育児への参加状況について、就学前児童の保護者では「よくやっている」が 36.8%、「時々やっている」が 45.3%で、父親が育児に参加している割合(「よくやっている」+「時々やっている」)は 82.1% となっており、前回調査 (81.9%) から 0.2 ポイント増加しています。
- 一方、小学校児童の保護者では、「よくやっている」が 31.2%、「時々やっている」が 42.9%で、父親が育児に参加している割合(「よくやっている」+「時々やっている」)は 74.1% となっており、前回調査 (68.3%) から 5.8 ポイント増加しています。

【父親の育児への参加状況】

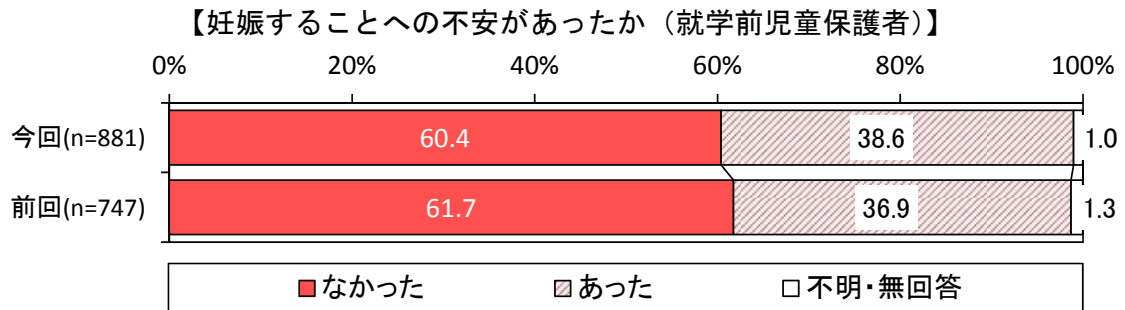


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査 (平成 20 年度)

6. 妊娠・出産時の意識・状況

1) 妊娠への不安の有無

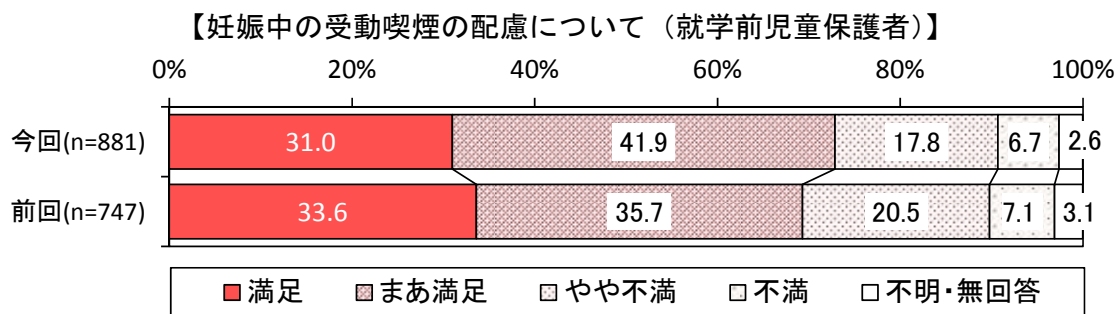
- 妊娠への不安について、「なかった」とする就学児童の保護者が 60.4%で、前回調査（61.7%）から 1.3 ポイント減少しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年度）

2) 妊娠中の受動喫煙への配慮

- 妊娠中の受動喫煙への配慮について、「満足」は 31.0%で前回調査（33.6%）から 2.6 ポイント減少し、「まあ満足」は 41.9%で前回調査（35.7%）から 6.2 ポイント増加しています。

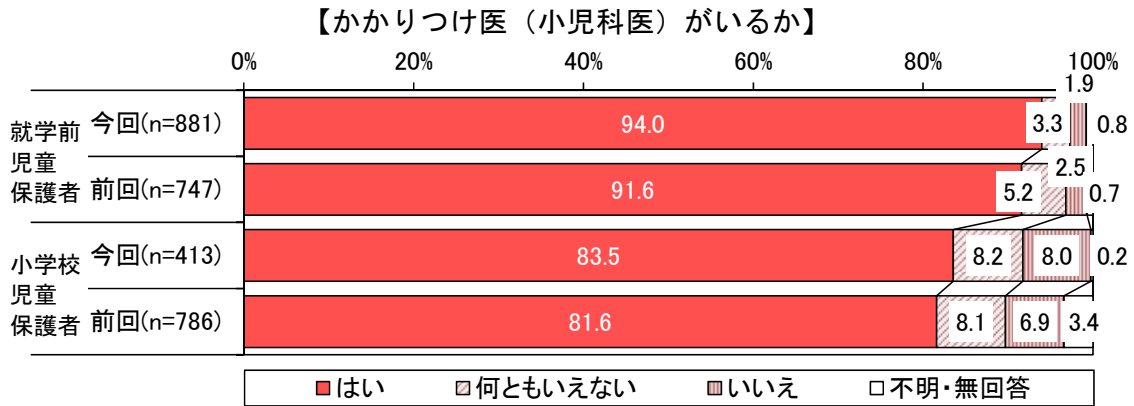


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年度）

7. 医療等との関わり・意識

1) かかりつけ医（小児科医）の有無

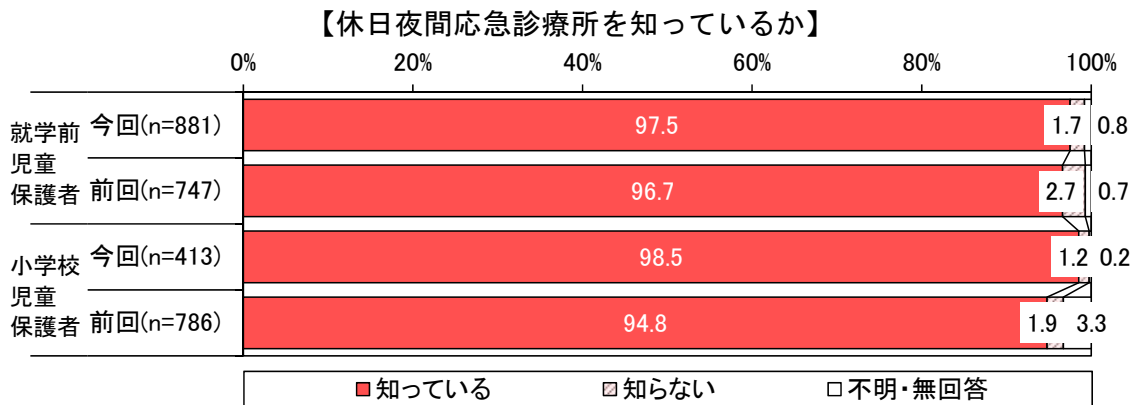
- かかりつけ医（小児科医）がいる保護者は、就学前児童の保護者で 94.0%となっており、前回調査（91.6%）から 2.4 ポイント増加しています。一方、小学校児童の保護者では 83.5%となっており、前回調査（81.6%）から 1.9 ポイント増加しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年度）

2) 休日夜間応急診療所の認知状況

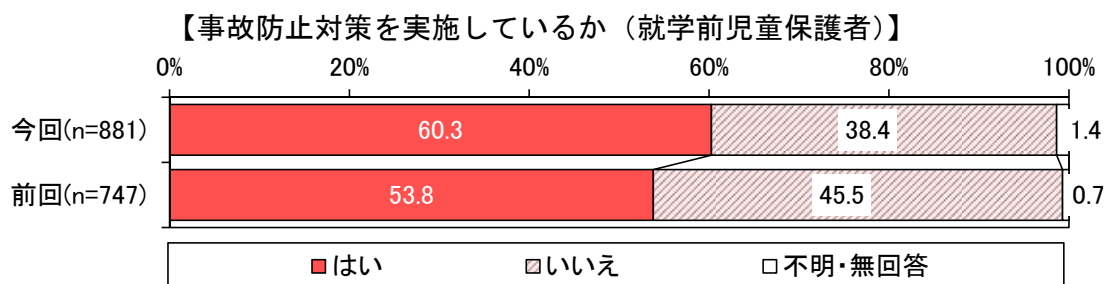
- 休日夜間応急診療所を知っている保護者は、就学前児童の保護者で 97.5%となっており、前回調査（96.7%）から 0.8 ポイント増加しています。一方、小学校児童の保護者では 98.5%となっており、前回調査（94.8%）から 3.7 ポイント増加しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年度）

3) 事故防止対策の実施有無

- 子どもの事故防止対策を実施している就学前児童保護者は 60.3%となっており、前回調査(53.8%)から6.5ポイント増加しています。

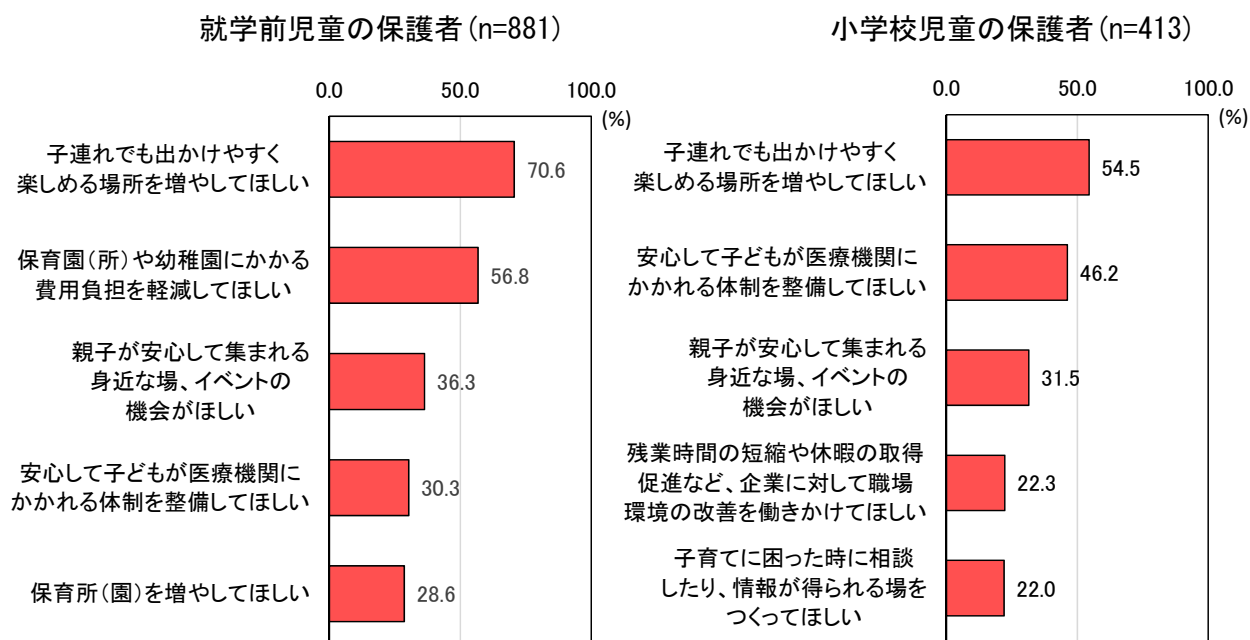


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年度）

8. 市の子育て支援策に求めること

- 市の子育て支援策に求めることについてみると、就学前児童および小学校児童の保護者とも「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が最も多くなっており、就学前児童の保護者では、「保育園（所）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」、小学校児童の保護者では、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」がつづきます。

【市の子育て支援策に求めること（上位5項目のみ）】

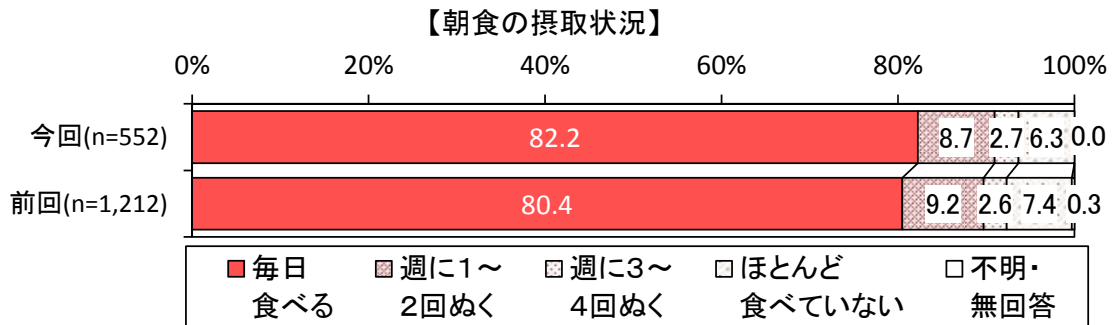


中高生調査の結果概要

1. 食生活について

1) 朝食の摂取状況

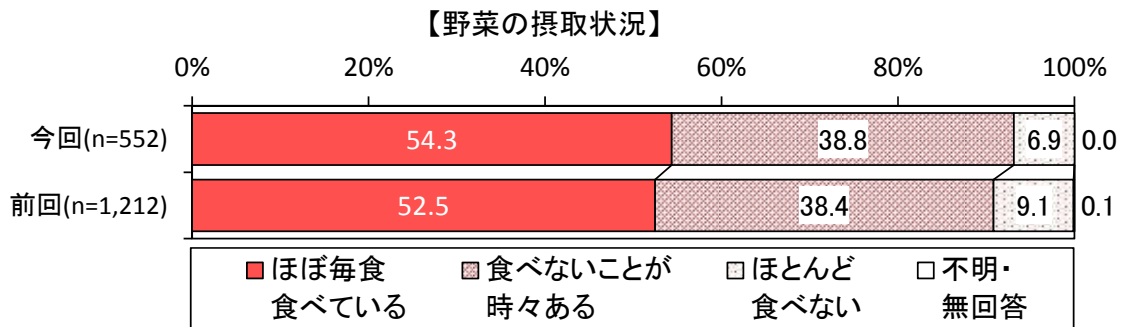
■ 朝食の摂取状況をみると、「毎日食べる」は82.2%で前回調査（80.4%）から1.8ポイント増加し、「ほとんど食べていない」は6.3%で前回調査（7.4%）から1.1ポイント減少しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（中高生調査）（平成20年度）

2) 野菜の摂取状況

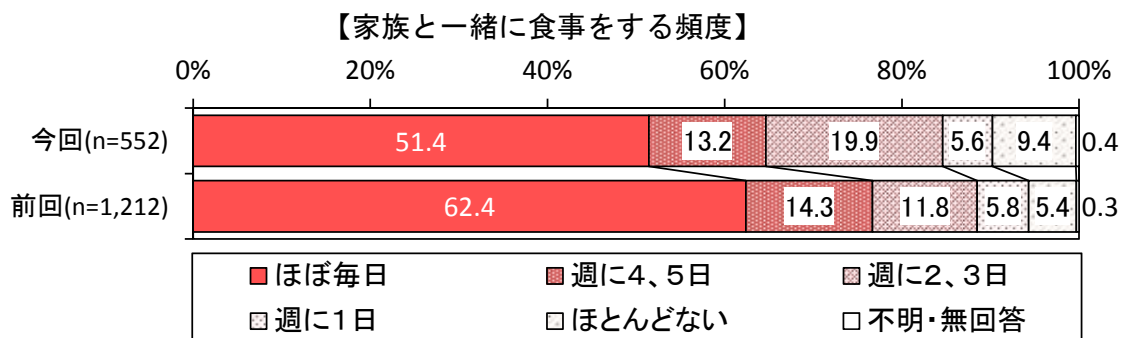
■ 野菜の摂取状況をみると、「ほぼ毎食食べている」は54.3%で前回調査（52.5%）から1.8ポイント増加し、「ほとんど食べていない」は6.9%で前回調査（9.1%）から2.2ポイント減少しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（中高生調査）（平成20年度）

3) 家族と一緒に食事をする頻度

■ 野菜の摂取状況を見ると、「ほぼ毎日」は51.4で前回調査（62.4）から11ポイント減少しています。一方、「週に2、3日」は19.9で前回調査（11.8）から8.1ポイント減少、「ほとんどない」は9.4で前回調査（5.4）から4.0ポイント減少しており、概して、家族と一緒に食事をする頻度が減少傾向にあることがわかります。

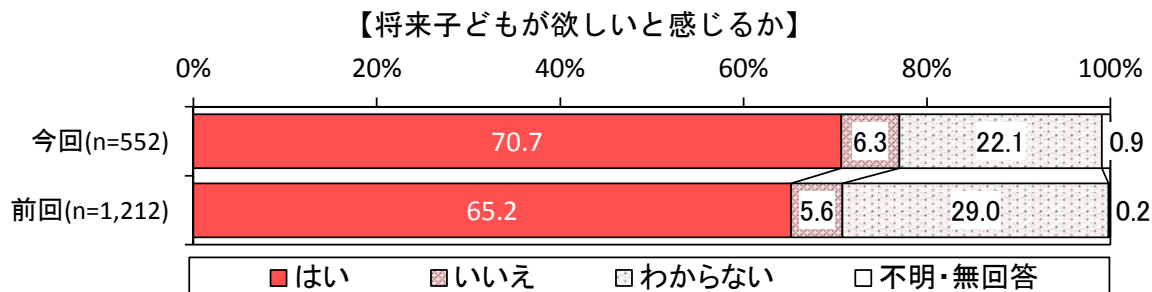


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（中学生調査）（平成20年度）

2. 子どもを持つこと等について

1) 将来子どもが欲しいと感じるか

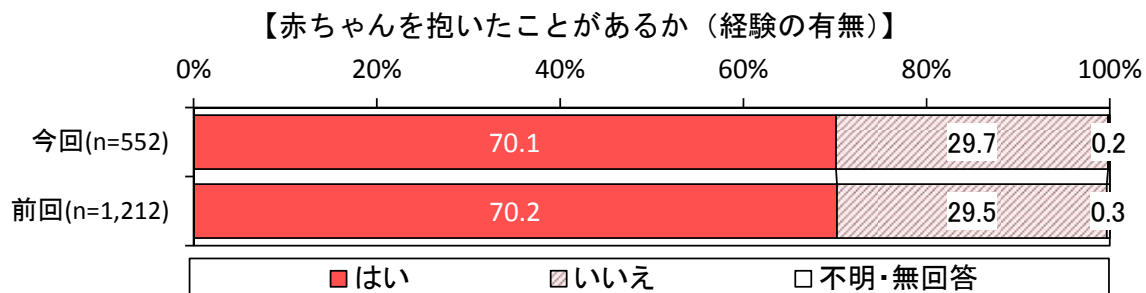
■ 将来子どもが欲しいと感じる中高生は70.2%となっており、前回調査（65.2）から5.0ポイント増加しています。



※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（中学生調査）（平成20年度）

2) 赤ちゃんを抱いた経験の有無

■ 赤ちゃんを抱いた経験がある中高生は70.1%となっており、前回調査（70.2）とほぼ同値となっています。

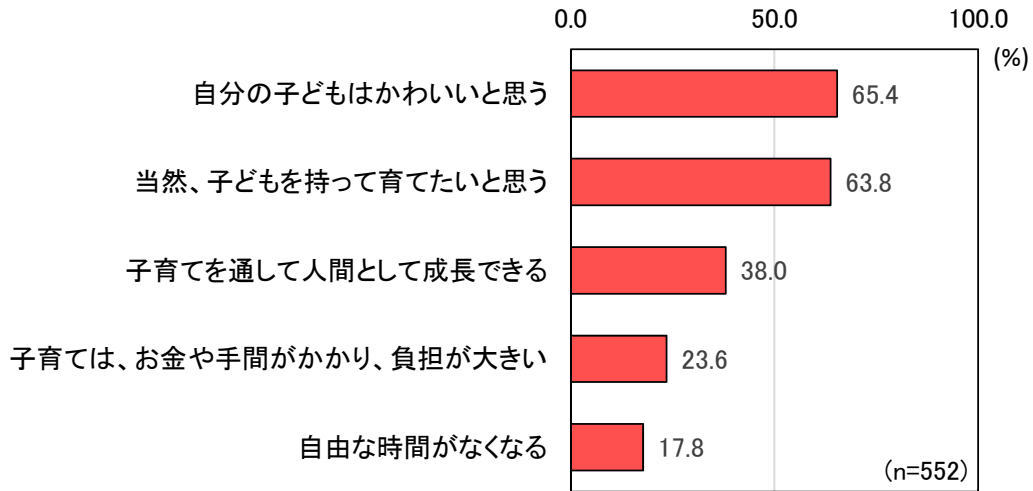


※前回調査は次世代育成支援に関するニーズ調査（中学生調査）（平成20年度）

3) 子どもを持つことについてのイメージ

■ 子どもを持つことについてのイメージについてみると、「自分の子どもはかわいいと思う」が 65.4%で最も多く、「当然、子どもを持って育てたいと思う」(63.8%)、「子育てを通して人間として成長できる」(38.0%)がつづいています。

【子どもをもつことについてのイメージ（上位5項目のみ）】

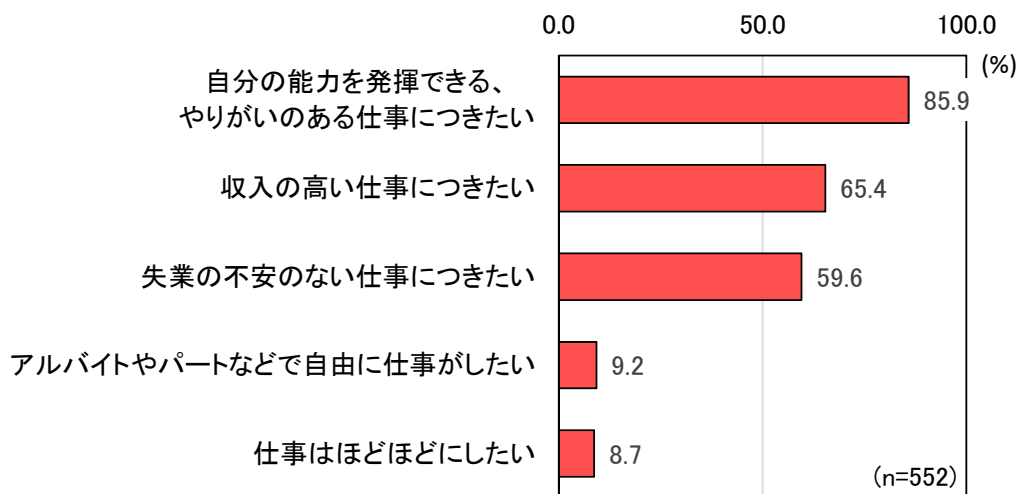


3. 将来について

1) 仕事についての将来の希望

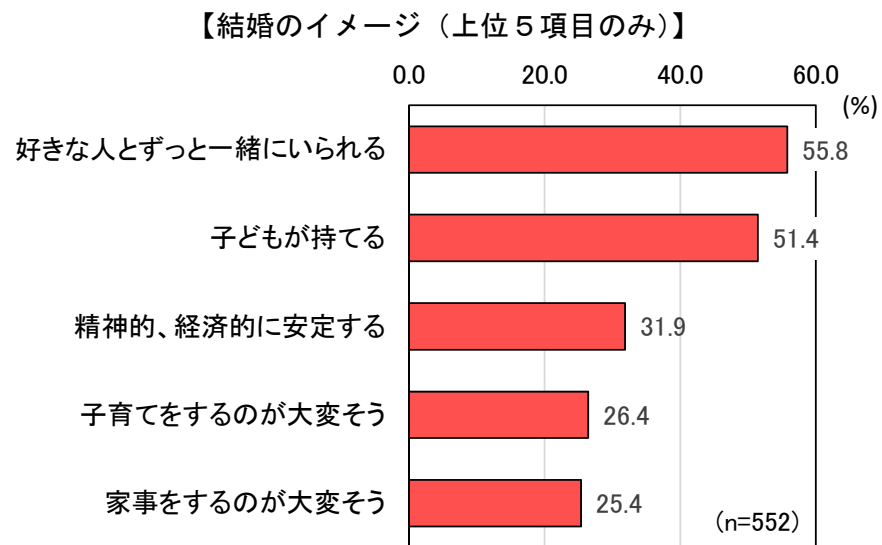
■ 仕事についての将来の希望についてみると、「自分の子どもはかわいいと思う」が 65.4%で最も多く、「自分の能力を發揮できる、やりがいのある仕事につきたい」が 85.9%で最も多く、「収入の高い仕事につきたい」(65.4%)、「失業の不安のない仕事につきたい」(59.6%)がつづいています。

【仕事についての将来の希望（上位5項目のみ）】



2) 結婚のイメージ

- 結婚のイメージについてみると、「好きな人とずっと一緒にいられる」が55.8%で最も多く、「子どもが持てる」(51.4%)、「精神的、経済的に安定する」(31.9%)がつづいています。



橿原市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書
【概要版】

発行年月：平成 26 年 3 月

発 行：橿原市

編 集：橿原市福祉部こども未来課

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 9-1

電 話 0744-25-2790

F A X 0744-25-2221